

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農地費 目：農地事業諸費

事業名 飛騨エアパーク管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農地整備課 事業管理係 電話番号：058-272-1111(内4236)

E-mail：c11431@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,366 千円 (前年度予算額： 9,239 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,239	0	0	5,212	0	0	222	0	3,805
要求額	10,366	0	0	6,373	0	0	206	0	3,787
決定額	10,366	0	0	6,373	0	0	206	0	3,787

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県の行政財産である飛騨エアパークを適切に維持管理するために、所要の経費が必要である。当施設は農産物空輸や防災ヘリの拠点として整備され、近年では、グライダー飛行や車両走行試験などの多面的利用が進んでいる。また、平成19年度から岐阜県災害時広域受援計画において、飛騨圏域における県広域防災拠点及び応援航空隊の活動拠点として位置付けられ、災害対応の観点からも重要な役割を担っている。

(2) 事業内容

飛騨エアパーク施設の管理運営を行う。

①施設管理委託

管理運営の一部を外部へ委託する。

②多面的活用推進

滑走路等を活用し、多面的利用を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県 100%

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	54	関係機関との打合せや現場確認に要する交通費
需用費	440	施設管理に要する光熱費等
役務費	265	管理棟で使用する電話料等
備品購入費	383	老朽備品更新費用
委託料	9,224	管理運営に関する外部委託
合計	10,366	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

○長期構想

1 新たな「成長・雇用戦略」の展開

(2) 未来につながる農業づくり

(2) 後年度の財政負担

今後も施設の維持管理に経費が必要である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
飛騨エアパークを適正に運営管理し、施設の有効かつ円滑な利活用に務める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

農道離着陸場の維持管理に要する定型的な経費であり、指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	(1) 利用状況 農産物空輸：2回 防災等行政利用：21回 他目的利用：985回 計 1,008回 (2) 成果 適正かつ円滑な運営管理を実施。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	(1) 利用状況 農産物空輸：1回 防災等行政利用：21回 他目的利用：604回 計 626回 (2) 成果 適正かつ円滑な運営管理を実施。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	(1) 利用状況 農産物空輸：1回 防災等行政利用：11回 他目的利用：614回 計 626回 (2) 成果 適正かつ円滑な運営管理を実施。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	飛騨エアパークは県行政財産であることから県の関与は不可欠であるとともに、頻発する自然災害への対応として広域防災拠点の機能もあるため事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	施設が適正に運営管理され、毎年多数の利用がある。 令和4年度：1,008回 令和5年度：626回 令和6年度：626回
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	農道離着陸場とヘリポートを一体的に管理することとし、日常管理を（一社）飛騨エアパーク協会に委託し効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高速道路網の整備等により農産物の陸送が可能となり、本来目的である農産物空輸が減少している。一方、防災拠点としての利用や多目的利用が増加しており、今後の施設の利活用について検討が必要である。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか グライダー等の多目的利用の他、飛騨エアパークは岐阜県災害時広域受援計画において飛騨圏域の広域防災拠点に位置付けられ、災害対応の観点からも安全で適正な管理運営が重要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	なし
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	